

令和 6 年度盛岡城跡公園芝生広場整備事業関係者懇話会 議事録

日時：令和 7 年 1 月 27 日（月）13 時 30 分～15 時 30 分

場所：盛岡市勤労福祉会館 5 階 大ホール

出欠：委員は、別添出欠者名簿のとおり。

事務局：滝村都市整備部長、玉山公園みどり課長、
美濃部課長補佐、平山副主幹兼計画係長、佐々木文化財主査
村上主任、鈴木主事、熊谷

関係課：市街地整備課まちなか未来創生室 藤原室長、新井主査

1 開会

美濃部課長補佐より開会を宣言した。

2 挨拶

滝村都市整備部長より、挨拶があった。

3 委員紹介

美濃部課長補佐より新任委員について紹介した。

4 報告事項

(1) 芝生広場の整備方針について

(2) 芝生広場のトイレ整備について

熊谷より、資料を用いて説明を行った。

各委員・盛岡市の発言要旨は以下のとおり。

(広田委員)

資料にガイダンス施設の記載があるが、整備する予定はあるのか。

(盛岡市)

平成 24 年（2012 年）度に策定した史跡盛岡城跡整備基本計画は令和 9 年度までの計画であるが、次回の計画改定時に、必要性について、議論になると思う。現行計画にはあるが、具体的な動きが無いのが現状である。

(下玉利委員)

再度、P-PFI 事業で他の事業者を公募することは考えているか。

P-PFI（公募設置管理制度）・・・

飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度。

(盛岡市)

今回の P-PFI で整備する予定であったトイレは公共施行で考えている。今後、芝生広場内での公共施設の整備が必要となった際に、状況に応じて最適解だと考えられれば、再度 P-PFI 手法を使って整備する可能性はある。

(畑中委員)

前回も申し上げたが、トイレの候補地が埋蔵文化財包蔵地であり、試掘調査の結果、史跡が出たとすると、この位置ではだめになる。(株)ミナの時もそうだが、なぜ先に試掘調査をしないのか不思議に思う。試掘調査をして問題が無いことを明らかにしたうえで、位置を公表するべきではないか。

(盛岡市)

埋蔵文化財の基本ルールとして、好きな場所をどんどん試掘調査することは難しく、トイレの位置を暫定で決めてから埋蔵文化財調査を行い、何も出てこなければ確定という流れでやっている。

(畑中委員)

あくまでも候補地ということであれば、予定地としての決定と記載するべきだと思う。また、試掘調査で万が一問題が生じた場合に、振り出しに戻るわけなので、条件を整理し、試掘調査で確認したうえで実施するべきだと思う。

トイレに関して、8.2m×7.1mで高さは約 3.5mと聞いているが、便器などの詳細はどのようなになっているか。

(盛岡市)

建て替え時には、男性用トイレでは小便器が 3、個室が 2、手洗いが 2、女性用トイレの個室が 4、手洗いが 2、オストメイト対応の多目的トイレが 1 つで考えている。

(畑中委員)

トイレトペーパーの補充なども含めて、管理は緑の相談室で行うのか。

(盛岡市)

基本的には指定管理者に依頼することで考えている。

(倉原座長)

具体的な便器等数は隣接する施設の関係から選定されたのか。

(盛岡市)

廃止予定の多目的広場のトイレを参考に進めているが、個室が少ないという話があるので、男性の個室は1増、女性の個室は2増で考えている。

(倉原委員)

事業について、各委員から一言ずつお願いしたい。

(松浦委員)

昨今、盗撮などの問題が全国的にもニュースになっているので、防犯面にぜひ配慮してほしい。

(木村委員)

ご存知のとおり、(株)ミナの店舗は紺屋町にオープンした。とても美しい空間ができたので、店舗を見れば(株)ミナさんがやりたかったことが垣間見えると思う。北のクラフトフェアは今年度で3回目、入場者数は延べ5万人くらいだった。来年度も10月11、12日の二日間で開催予定である。

トイレについては、個室が増えるのは嬉しい。ただ、場所については、イベント利用時に起点となる本部を置いている場所になる。勿論、トイレとしてもいい位置だが、芝生広場の正面玄関でもあるため、もりおか歴史文化館と芝生広場を遮断するため、ユリノキ側の方が良いと思う。また、女性目線として、入り口が目立たないようにするなど、デリカシーの部分に配慮していただきたい。

(倉原座長)

今のトイレの場所は、事務局で何案か候補地を出して、設備、防犯、距離、景観など検討したうえで、落ち着いた場所のようである。向きや位置で大きく変わるので、実施設計の時には、配慮していただきたい。

(盛岡市)

デリカシーについては、実施設計で検討したい。ユリノキ側は候補の一つであったが、落枝など安全性を考慮して、この場所にした。

(木村委員)

複合的に考えて、この機会に伐採するのも一つの手段だと思う。

(金沢委員)

この事業は、協定を結んだ後に埋蔵文化財の話や、中津川からの石垣への眺望、インフラ関係の話が出てきた。トイレ整備の際には、手続きなどが前後しないようにして欲しい。

また、個人的な希望だが、渋谷や福岡のトイレのように、それが目的でツアーが組まれるような注目されるトイレができればいい。

(下玉利委員)

木村委員とほぼ同じ意見である。目立つ場所なので、イベント時を考慮した設計としていただきたい。トイレは24時間開放するのか。

(盛岡市)

24時間開放する予定である。

(小枝指委員)

盛岡城跡公園は、大通地区と河南地区の中間に位置しているため、賑わいの中でも安らげるスペースにして欲しい。賑わいの創出や公園整備にあたっては、道路に合わせて、中津川との一体感という視点も必要ではないかと思う。

(佐々木祐輔委員)

盛岡城跡公園は市民の避難場所にもなっているため、災害に備えて、防災の面も考慮したトイレ整備をお願いしたい。また、犯罪も多いので、防犯灯を整備するなど、防犯にも配慮していただきたい。

(畑中委員)

盛岡城跡整備委員会にて、計画の中に史跡を守る方針は多くあるが、公園としての視点が少ないので、公園自体を強化するような考え方があっても良いのではないかという意見が出ていた。ただ、議事録が公表されていないので市民に意見は共有されていない。公園全体の整備計画を策定したうえで、事業を進めるべきだと考えるが、なぜ、公園全体を対象とした計画を策定されないのか。

(盛岡市)

ご指摘のとおり、公園全体の計画は盛岡城跡公園に関していえばないが、公園全体の3分の2を占める史跡の計画を先に策定した。ただ、次の計画改訂からは、史跡の中だけでなく、外の公園部分も含めた内容になると思う。

(畑中委員)

総石垣のお城として、史跡を大切にするのはいいことだが、あまりにも史跡に偏りすぎていると思う。逆に史跡を推すのであれば、櫻山神社裏の四阿を解体した後に、普通の公園で使われるような二次製品の石材ベンチを持ってくるのが不思議に思う。

(倉原座長)

畑中委員の意見もごもっともだと思う。ただ、史跡と公園で矛盾しているところがあり、それをどう生かすかが計画のテクニックであり、大事なことである。市にはこのことを意識して計画して欲しい。

(坂本委員)

盛岡城跡公園に関して、色々進んでいると思った。このトイレの利用者は公園利用者だけでなく、通りがかった人も利用することを考慮して欲しい。トイレは無事整備していただけるということで一安心である。

(中村委員)

中津川は非常に評価が高い場所であるため、日常的に地域の人が集える、さらに来たくなる場所にして欲しい。P-PFI 事業をきっかけに、公園の活用について様々な方の話を聞く「みんなの会」が立ち上がり、業種問わず様々な方が来て、異業種交流になっている。このような場ができたことは、意味があることだと思う。

(熊谷委員)

もりおか歴史文化館は約6万点の資料を収蔵している関係から、文化財害虫を一番危惧している。市にも伝えているが、トイレの入り口の向きについて配慮いただくほか、清掃の徹底や文化財害虫のモニタリングをし、館の中に入らないように対策を講じていただきたい。

トイレの候補地については、複数の候補地の中から、石垣眺望の視点場の概念もあると聞いた。これから整備を進めるうえで、樹木の伐採もあると思うが、視点場の概念をベースにやってほしい。また、盛岡城跡は街なかの中心、賑わいの中心なので、賑わいの拠点にふさわしいトイレにして欲しいが、既存の建物との調和をとるようように工夫していただきたい。

(谷藤委員)

長い間協議して、決まったものが何もないという現実を迎えているが、今回示していただいたトイレの位置は、私にとっては非常にありがたい。速やかにトイレを整備していただきたい。

(福島委員)

トイレの位置だが、芝生広場ともしろおか歴史文化館の前の広場、まち側と公園側を塞ぐ場所となる。別途参画している盛岡市中心市街地デザイン戦略の検討の中で、まちづくりに取り組む市民からは、盛岡市は各エリアの地域資源は非常に豊かだが、各エリア間のつながりが非常に弱いという声があがっている。それをつないでいく施策を同じ都市整備部が進めている中で、各エリアを分断する場所にトイレ整備を計画するのはどうかと思う。盛岡市は、他のプロジェクトでもほとんどの部署が、自分の関わっている範囲でしか話をしない印象があるので、もう少し広い視野をもって考えるべきだと思う。ただ、非常に利用者が多い場所なので、一番は普段利用する方が使いやすいように建築的にも価値的にも配慮されるのがいいと思う。

建築の話で、いよいよそこで建てるしかないとなった際に、デザイン上の工夫で解決することはできると思うが、それは最終手段だと思う。その前に配置計画等について熟考すべき。公園の全体プランが無いということであるが、本来は全体プランを先に検討し、それに即して個々の施設計画を進めていただければと思う。

(広田委員)

トイレについては、少しずれても使い勝手や見栄えが違うと思うので、機能的な意味でも見かけのな意味でも、デザインにこだわって欲しい。盛岡の中心であるため、何とかたくさん予算を確保して、トイレを目的に行こうと思えるトイレを整備できたらいいと個人的には思う。

史跡と公園の話だが、文化財には保護と活用という大きな柱があり、数年前に文化庁は史跡を含めて活用に大きく舵を切った。活用されることで保護にもつながるので、どちらかをとるのではなく、両方とも良い形で史跡の利活用ができればいいと思う。

私自身も P-PFI の審査を行ったが、埋蔵文化財などの重要な条件を示されておらず、確認もしなかったことは反省だと思う。

最後に、皆川さんは盛岡の話や手作りに対する尊敬の念が高いので、まさに盛岡のまちづくりのコンセプトに合うと考えている。事業が終息することは残念だが、ぜひ(株)ミナさんと一緒に盛岡のまちづくりの一環を担い、継続的に計画されるといい。

(倉原座長)

この事業を通して、手続き上丁寧じゃない部分があったことは反省し、今後に活かしてほしい。トイレについては、意見にあったように、防犯と防災、デリカシー、女性の視点などを含めてデザインすればいいと思う。

(福島委員)

デザインの話だが、資料の写真だと広場の内側に入り口を設けているが、エリアの断絶という意味であり良い配置計画にみえない。トイレを横向きにしたり、壁も含め、入り口をどちらに向けるか、きちんと検討して欲しい。動線話はすごく難しい話なので、設計者の方に今日出た意見を伝えていただきたい。

(畑中委員)

最後に、令和7年度の実施設計に係る予算額や、トイレ整備の事業費を答えられる範囲で教えて欲しい。

(盛岡市)

現時点では答えられない。

(3) 懇話会の今後について

(玉山課長)

当懇話会は、盛岡城跡公園芝生整備事業(P-PFI事業)について、ご意見を頂戴するために設置したものだが、P-PFI事業は、令和6年3月12日をもって協定の解除について合意し、終息している。

また、課題となっていたトイレの移設整備については、盛岡市による公共工事で整備することとしているほか、芝生広場の整備等についても、お示しした方針等に基づいて進めて行くことで考えている。

当懇話会の設置趣旨であるP-PFI事業が終息し、課題となっていたトイレの移設整備等についても方向性が定まったことから、「盛岡城跡公園芝生広場整備事業関係者懇話会」は今回をもって廃止することとする。

(各委員)

異議なし。

5 その他

特に無し。

6 閉会

美濃部課長補佐より閉会を宣言した。